

英 語

1

解答

問1. ア 問2. エ 問3. イ 問4. イ 問5. ウ
問6. イ 問7. オ 問8. ウ 問9. エ 問10. イ
問11. ア 問12. エ 問13. ウ

..... 全訳

《コーヒーハウスの歴史と役割》

- ① コーヒーを飲むことは、忙しい朝の日課の一部として意識されることはほとんどないが、馴染み深い現代生活の特徴である。もっともコーヒーハウスはその歴史を300年以上遡り、17世紀と18世紀におけるイギリスの政治とビジネスの文化に対する魅力的な見識を提供してくれる。
- ② 15世紀の後期までには、トルコや中東に出向くヨーロッパの商人たちはすでにコーヒーを飲むことに馴染んでいた。その地域での初期の商人ウィリアム＝ビダルフはそこでの旅に関して「えんどう豆に似た豆でできる一種の飲み物」の人気について記しているし、一方で1600年代初頭に別の旅人ジョージ＝サンディーズはトルコの首都コンスタンティノープルではコーヒーを飲むことが人気であると記している。この地で彼は多くのカフェの客たちが座って「日がな一日おしゃべりをしながら」、「煤のように黒く、味も煤とあまり変わらぬ」飲み物をすすっているのを目撃した。
- ③ 当初ヨーロッパのコーヒー熱は、健康によいとの認識から生じた。コーヒーは脳に及ぼす刺激的な特性が称賛され、エールやワインの飲みすぎによる悪影響に煩わされずに大量に飲むことができた。初期のコーヒー推進派はさらなる健康上の恩恵も挙げ、中には頭痛、痛風、皮膚病治療としての有効性などがあった。
- ④ イングランド初の専用コーヒーハウスが開店したのは1650年代のオックスフォードであり、そこでコーヒーが有する頭脳を刺激するという利点

が、いかにもその地の大学で見られる冷静な学問的議論や討論の気風を補完した。この初期のコーヒーハウス（外部の者が「ペニー大学」とあだ名をつけた）は、主として教養人・富裕層限定の溜まり場、すなわち学者やその教え子たちが自らの機知や知的才覚を示す場所であった。コーヒーハウス文化のこうした特徴は、コーヒーがゆっくりと人気を得ていく中でロンドンにも確かに存在していたのである。

- ⑤ ロンドン初のコーヒーハウスは、1652年にギリシャ人でレヴァント会社の使用人だったパスクア＝ロゼーが開店した。ほどなくこの店舗に、シティや急速に発展中のウェストエンド周辺に拠点を置く数少ない他のコーヒーハウスが加わった。17世紀中頃のコーヒーハウスは、ロンドンの多くの居酒屋や酒場のたいていは下品な泥酔を避けようとする人々にとっての新たな選択肢に違いなかったが、当初は人気獲得に苦労した。長年にわたり、コーヒーハウスは高学歴商業エリート層の溜まり場であった。
- ⑥ しかし、1660年以降ロンドンにコーヒーハウスの数は急増し、18世紀前半までにおよそ550店舗に達した。くつろいだ雰囲気と比較的安いこと（わずか1ペニー、コーヒー1杯分は通常店舗の入店費に含まれていた）もあり、多くの忙しいロンドン市民は、宮中や法務室や事務所、その他専門の職場がもつ退屈な真面目さよりも、コーヒーハウスの飾らない雰囲気のほうを好んだ。たとえばサミュエル＝ピープスは日記にコーヒーハウスに行くことの有用性について、噂話を小耳にはさんだり議論に耳を傾けたりすることができ、あるいはわけなく商売に有益な人脈が作れるなどと、縦横に記している。ピープスは1664年にはすでに、ロンドン王立取引所近くにあったお気に入りのコーヒーハウスに毎週3回以上（1日2回のこともしばしば）訪ねていて、たいていは事前の申し合わせで友人や同僚と会い、また時には知らない人たちが商売や政治について語るのをただ聞いているだけのこともあった。
- ⑦ ピープスと同様、熟練のビジネスマンたちは、同僚や顧客が捜し出しやすいことを心得ていて、特定のコーヒーハウスに規則正しく現れたものだった。郵便物をコーヒーハウスに直接送ることもできたのは、受取人がいつも決まってそこで見つかるを知っているから、送り主が安心できたからである。

解説

問1. 主文に already 「すでに」とあるので, By the late 15th century 「15世紀後期までに」とすれば文意に合う。

問2. 下線部(1)を含む One early trader in the region は前文の European traders to Turkey and the Middle East 「トルコや中東に赴くヨーロッパの貿易商人」の1人なので, the region 「その地域」とは Turkey and the Middle East を指す。

問3. わかりづらい表現だが, まず it が指すものが soot(e) 「煤」であるにとらえてイとエに絞る。not much 「あまり～ない」と unlike 「～と違って」を合わせれば「煤とあまり変わらない味」となり, 答えはイである。

問4. 下線部(3)「認知された健康上の利点」は, 直後の文で the stimulating properties it exhibited on the brain 「コーヒーが脳に及ぼす刺激的な特性」のために称賛されたとあるので, 答えはイである。

問5. as の後ろを見て品詞を判断する。アの「～のように」とイの「～だけれども」は接続詞, ウの「～として」は前置詞, エの「～と同じくらい」は副詞である。下線部(4)の文では as は前置詞として使われているので, ウが同じ用法となる。

問6. this + 名詞は直前文のまとめである。よって, this feature of coffeehouse culture 「コーヒーハウス文化のこの特徴」とは, 直前の learned men … intellectual talents 「学者やその教え子たちが自らの機知や知的才能を示す場」を指すとわかり, イが正解となる。

問7. 品詞別にアとオが接続詞, イとウが前置詞, エが副詞である。後続に名詞句がくるので前置詞を選びたいが, オの Though には「直後の主語と be 動詞の省略」も考えられる。空欄Bの節「コーヒーハウスは新たな選択肢に違いない」が, 主節「コーヒーハウスが人気獲得に苦労した」と逆の内容になっているため, 結局 Though (they [=mid 17th-century coffee-houses] were) undoubtedly … のみが文意に合い, オが正解となる。

問8. they remained the haunt … は文型が SVC なので they = haunt ということになる。「溜まり場」を指す複数形は前文の主語 mid 17th-century coffee-houses なので, ウが正解。

問9. a boom in the number 「数においてのブーム」と考えれば, エの

a rise 「(数の) 上昇」と見当がつくだらう。boom 「急増」

問10. 下線部(8)「彼がコーヒーハウスを訪ねることの有用性」は、後続の where 以下の he was … connections 「噂話を小耳にはさんだり議論に耳を傾けたりすることができ、あるいはわけなく商売に有益な人脈が作れる」であり、正しい解釈はイである。噂話に対する pick up と議論に対する listen to という記述を確認すれば、答えはイと判断できる。

問11. 下線部(9)「事前の取り決め」とは、アの「面会の約束」が同意である。

問12. 下線部(10)は「熟練のビジネスマンたちは、特定のコーヒーハウスに規則正しく現れたものだった」という意味になる。keep regular hours 「決まった時間に決まったことをする、規則正しい生活を送る」 コーヒーハウスに対する particular 「特定の」という記述を確認するだけでも答えはエとわかる。

問13. ア. 第1段第2文 (The coffee-house though, …) に、コーヒーハウスの歴史は300年以上とあるので、不一致。

イ. 第4段第1文 (The first purpose-built …) に、イングランド初のコーヒーハウスはロンドンではなくオックスフォードとあり、不一致。

ウ. 第5段第2文 (This establishment was …) 「ほどなくこの店舗 (パスタア=ロゼーの店舗) に、シティや急速に発展中のウェストエンド周辺に拠点を置く数少ない他のコーヒーハウスが加わった」に合致するので、正解。

エ. 第6段第2文 (With their relaxed …) に、ロンドン市民がコーヒーハウスを好んだ理由として「くつろいだ雰囲気と比較的な安価」があるので、不一致。

2 **解答** **問1.** ウ **問2.** イ **問3.** エ **問4.** ア **問5.** ア
問6. 3番目：オ 5番目：カ **問7.** ウ **問8.** エ
問9. イ **問10.** エ **問11.** オ **問12.** ア **問13.** イ・カ

..... **全訳**

《災いを喜びに》

① 実に実に長かった一週間の終わる金曜日のこと。マイクと私は友人たちを我が家に迎えて、ディナーにワインを1杯か2杯(絶対2杯だな)振る

舞う予定でいた。

- ② 帰宅直前にマイクから、残業しなければならないとメッセージが入った。私は一人で晩の用意をすべてするはめになった。すでに予定より遅れていて、ハイドンとマイケルを車で学校に迎えに行きながら、私はイライラが高まっていくのを感じた。私は二人を車に押し込んで、家に向かう前に何か所か立ち寄ることを伝え、家の片づけを手伝うことを申しつけた。
- ③ 最後の用事が終わったちょうどそのとき、「ペットショップに寄ってフトアゴヒゲトカゲの餌にコオロギを買わなきゃ、でしょ」と息子たちが念を押した。「約束したじゃない」と言う。その通り。約束した。でも狂乱の一日ですっかり忘れていた。「わかったわ。でも急がなきゃね」と言って、ペットショップに突進した。
- ④ 15分後私たちは車に戻った。透明のビニール袋に入った100匹の生きたコオロギという新たな乗客と一緒に。私道に入ったときには、車から荷物を降ろし、家の掃除をし、ゲストが来る前にテーブルをセッティングするのにあとわずか45分しか残っていなかった。一体間に合うのだろうか？
- ⑤ 私は新兵訓練係軍曹のごとく息子たちに命令を怒鳴り始めたが、二人はビニール袋からコオロギを取り出して、コオロギを入れる小さな容器のてっぺんに注ぎ込むのに夢中だった。
- ⑥ いらだちが湧き上がり始め、「急ぎなさい、でも気をつけてするのよ」と私は二人に怒鳴った。
- ⑦ それがどのように起きたのか私にはわからないが、次に顔をあげると100匹のコオロギが無秩序にリンリン鳴きながら台所中を飛び跳ねていたのである。
- ⑧ 私は叫び声を上げて、奴らから逃げようと椅子の上によじ登った。私のイライラは爆発し、怒りが突然私の正気を支配した。私はめったにないやり方で怒鳴りだしそうになるのを感じた。
- ⑨ だが、そのとき最も驚くべきことが起こった。
- ⑩ 二人のかわいい息子たちが必死になってコオロギを捕まえようとしているのを見ながら、まるで時間の流れがゆっくりになったかのように感じて、初めて事態がはっきり見えたのだ。彼らはキャッキョッと笑いながら狂人のように走りまわっていたのだ。

- ⑪ それは純然たる喜びで、驚くべき見ものだった。
- ⑫ そのほんの一瞬に、私は2つの選択肢があると悟った。このままイライラ怒り続けることもできるし、あるいはこの馬鹿げた瞬間を馬鹿げた瞬間として手放しで楽しむこともできる。
- ⑬ 私は喜びのほうを選んだ。
- ⑭ こらえきれずに笑いながら、私は椅子から飛び降りて息子たちと一緒にコオロギを追いかけ始めた。至る所にいた！ 容器に一匹入れようとするたびに別の一匹が飛び出てくる。まるでコントでお決まりの流れのようだった。私たちは興奮して歓声をあげ、大方最高に楽しい時間を過ごした。時計はそれでもカチカチ鳴っていたが、私たちは気にしなかった。
- ⑮ 虫けらたちをみな容器に入れるのに約15分かかった。いったん終わると、息子たちは私が急いでディナーの用意をするのを熱心に手伝ってくれた。間に合っできるかどうかを見るゲームになった。私たちはみなそんなすばらしい気分だった。
- ⑯ マイクが残り時間5分で帰宅。私一人に全部任せたことでそっけなくされると思っていた彼は、私たちの最高のコオロギ冒険談を聞いて楽しげに驚いた。ゲストたちが到着。すばらしいディナーパーティーを過ごし、息子たちは私が「奇妙な災いの問題」全容を語る手助けをしてくれた。数週間経っても、あのとき捕獲をまぬかれた数匹のコオロギが鳴くのが聞こえた。それで私はいつもクスッと笑った。
- ⑰ あのときのことがいつも私に思い出させてくれる。イライラなんかには人生を楽しむ喜びを妨げさせてはいけなないと。ものごとはうまくいかないものだし、それについては何もできない。でも私たちには、ものごとによってどう対応するかを決める力はある。
- ⑱ 今度心にマイナス感情が沸き起こってきたら、気を落ちつけて、2、3回深呼吸をし、ハッピーになることを考えてみよう。やってみれば何か発見があるでしょう。怒り出すより笑うほうがよいと思いませんか？ 喜びを選びましょう。

解説

問1. フラストレーションが mounting 「高まっている」は、ウの「成長している」が同意である。ア. 「徐々にやんでいる」 イ. 「復活している」 エ. 「減少している」

問2. 「2, 3 立ち止まる」は, 第3段第1文 (Just as we finished…) に「最後の用事が終わった…」とあることからイの「数カ所に立ち寄る」が同意である。ア. 「数分立ち止まる」 ウ. 「短い休憩をとる」 エ. 「2, 3の信号で立ち止まる」

問3. この不定詞は目的を表す副詞用法で, エと同じ用法である。アは結果を表す副詞用法, イは名詞用法 (目的語の働き), ウは前置詞の to である。

問4. “You promised,” they said. And they were right. に続けて時制を合わせると, I had promised. とつながる。動詞の promise が重複するので省略して, I had. となったのである。よって, アが正しい。

問5. get away from A で「A から逃げる」という意味になる。

問6. (be) about to do 「まさに~しようとして」, in a way S V 「S が V するやり方で」, I rarely do 「めったにしない」などをまとめ, (I could feel myself about) to start yelling in a way I rarely do(.) とする。

問7. 下線部(5)は「驚くべき見もの」という意味。末尾の watch に着目。前段第10段第1文 (As I watched…) に I watched my two sweet boys try frantically to capture the crickets とあり, 筆者が見たのは息子たちなので, アは不可。第5段 (I started barking…) から, 筆者の命令にかかわらず息子たちはコオロギを容器に移そうとしたので, イは不可。また, 下線部(5)の直前の文 (They were running…) から, コオロギは容易につかまらなかったこと, screaming with laughter から enjoy していた様子もわかるので, 正解はエではなくウの「少年たちがコオロギを捕まえるのを楽しんでいたこと」である。

問8. what it is で「そういうもの (それがあま)」の意味で, 下線部(6)の it は this ridiculous moment を指しており, エが正解。エの as such 「そういうものとして」の such も直前の名詞 (句) を受ける代名詞である。残りの選択肢は it に置き換わるものがない。ア. 「無料で」 イ. 「特に理由もなく」 ウ. 「欲しいだけ」

問9. have the time of one's life は「楽しく過ごす」の意の成句だが, それを知らなくても直前の「興奮して歓声を上げ」, さらに前文の「コントのお決まり (の流れ)」などから楽しい雰囲気がかめれば, イを選べ

るだろう。

問10. anticipate は「予期する」、cold shoulder は「よそよそしい態度」という意味なのでエが正解だが、当日直前の連絡で仕事のせいとはいえ準備をすべて妻に任せっきりにして、客の来る5分前に帰宅した夫のきまりの悪さがくみ取れば、エが選べるだろう。

問11. 下線部(9)は、直前の crickets を先行詞とする主格の関係代名詞の that なので、オが正解。イは目的格の関係代名詞である。アは形容詞。ウとエはどちらも名詞節を導く接続詞だが、ウは同格節を導く点でエとは異質である。

問12. take a deep breath で「深呼吸をする」という意味になる。

問13. ア. 第2段第1文 (Just before I…) から、マイクから残業するというメッセージが届いたのは筆者の帰宅直前とわかり、不一致。

イ. 第4段第2文 (I pulled into…) 「私道に入ったときには…あとわずかか45分しか残っていなかった」に合致する。

ウ. 第5段 (I started barking…) に不一致。家に着くと、子どもたちはコオロギを容器に入れ始めたのである。

エ. 第6段 (My annoyance started…) から、筆者は子どもたちがコオロギを容器に入れているときに怒鳴ったことがわかり、不一致。

オ. 第15段第2文 (Once we were…) に不一致。子どもたちはコオロギを容器に入れ終わると、部屋に戻らず手伝いをした。

カ. 第16段第1文 (Mike got home…) 「マイクが残り時間5分で帰宅」に合致。

キ. 第17段第2文 (Things go wrong…) に、ものごとがうまくいかないときは「何もできない」と書いてあるが、「むだ」とは言っていない。続く第3文 (But we do…) に「私たちには、どう対応するかを決める力がある」とあり、不一致。

3

解答

1－ウ 2－オ 3－エ 4－ウ 5－オ 6－エ
7－ア 8－イ

解説

1. furniture は不可算名詞なので、可算複数形のイ・エ・オは不可。アは full of furniture なら正解となる。

2. no sooner ~ than … 構文「~するやいなや…」は no sooner が文頭に出ると後続は had S done と倒置になる。hardly (scarcely) ~ when (before) … も同じ構文である。

3. in bed も for two weeks も副詞句なので、自動詞 lie 「横たわる」の活用 lie-lay-lain から過去形を選ぶ。他動詞 lay 「横たえる」は lay-laid-laid である。紛らわしいので、何度でも繰り返して覚えよう。

4. put A through B 「(電話で) A を B につなぐ」アの「~にもかかわらず」やイの「徹底的な」はスペリングが似ているので、要注意。

5. 「昔の彼 (の人となり)」という意味で who he was または who he used to be は、the person who he was [used to be] の the person を省略した形である。受験では what he was [used to be] のほうが有名だが、ほぼ同意と考えてよい。正解はオ。

6. カンマ (,) の位置に接続詞がないことから、分詞構文と判断できるのでエが正解である。アは If you turn なら成立する。また、イはカンマの後に and があれば「命令文 + and (そうすれば)」となり、文が成立する。

7. 関係代名詞の主格を選ぶ問題だが、先行詞が「人 and 人以外」の場合は that でなければならない。先行詞が複数でも that は those にならない。アが正解。

8. 感情を表す他動詞 (本問では surprise) が「もの」を修飾する場合は現在分詞 (surprising) 「驚くべき」、 「人」を修飾する場合は過去分詞 (surprised) 「驚いた」となる。本問では number を修飾しているので、イを選ぶ。

4 解答 1. 61—エ 62—ア 2. 63—イ 64—ウ
3. 65—ア 66—イ 4. 67—ウ 68—エ
5. 69—ア 70—ウ 6. 71—ウ 72—ア 7. 73—イ 74—エ

解説

1. 61. 「むかし…いた」とあるので、「かつて」を表すエの once を選ぶ。

62. have (never) been to A で「A に行ったことがある (ない)」という意味になる。ウの visit は他動詞なので、前置詞 to は不要である。

2. 63. 感情を表す他動詞は「もの」に対する補語として働くとき現在分

詞になるので、イの boring 「退屈な」が正解。

64. 期間を表すイの前置詞 during とウの接続詞 while のどちらを選ぶかの問題。during のように語尾が ing 形の前置詞は動名詞を目的語にとらない。一方、while のような接続詞は後続の「主語 + be 動詞」を省略することができ、本問では while (they were) listening として成立する。

3. 65. regardless of A で「A に関係なく」という意味になる。

66. call off で「中止する」という意味になる。

4. There is something wrong with A. = Something is wrong with A. 「A はどこか故障している（様子がおかしい）」という意味になる。

5. 疑問詞 + is it that ...? は強調構文の疑問文である。What is it + that 節で「～なのは何ですか？」となる。

6. 71. 感情を表す他動詞は「人」に対する補語として働くとき過去分詞になるので、ウの disappointed が正解。be disappointed to do 「～してがっかりする」

72. find O C の C の位置に入るのは形容詞なので、アの absent が入る。

7. 73. so ~ that ... 構文か such ~ that ... 構文にしないと、後続の文につながらない。vividly という 1 語を挟むのは、形容詞か副詞を間に置く so ~ that ... 構文である。such は間に名詞句がくる。

74. 「A に～させる」を意味するときには、make A do と動詞は原形になる。アは受動態になっているので、不可。